



桜風

合志市立西合志中央小学校学校だより

校訓【健康 工夫 協同】

令和5（2023）年7月20日 第5号

文責：校長 佐藤 正貴

あー、夏休み！

日増しに暑くなってくる日中。学校では雨の心配、熱中症の心配、加えてまだまだ予断を許さない新型コロナにインフルエンザ。私が小学生の頃とは随分変わり、危機管理の意識を高く持つておくことが求められる世の中になってきました。そんな中、明日から、子どもたちが楽しみにしている夏休みがスタートします。

さて、今回は私が子どもの頃の夏休みの過ごし方について、思い出しながら書いていこうと思います。まず、家庭学習についてです。小学校1年生の夏休みは、とにかく遊びました。阿蘇に住んでいたため、比較的過ごしやすく、外で遊び回り、宿題には全く手を付けませんでした。最終日に父親の逆鱗触れ、泣きながらさせられました。毎日の天気、朝起きた時間、その日の出来事の1行日記など覚えているはずもなく、また、今と違って調べる術もない時代です。最終的にはきちんとやり終えることができず、学校でも怒られました。2年生では1年生の時の学びを活かして、多少計画的に進める事ができました。学年が上がるにつれて、徐々に宿題などの嫌なことは早めに済ませて、夏休みを満喫する自分の生活リズムを確立していきました。しかし、自由研究だけはどうしても苦手で、小学校6年間の中で、最後までやり遂げたことはありませんでした（中途半端なまま提出していました）。次に家庭での手伝いです。私の役割は、家の中の雑巾がけ、窓拭き、落ち葉掃きでした。最初は面倒くさかったことも、綺麗にすると感謝され、その積み重ねで次第に当たり前になってきました。勿論、手伝いは夏休み期間だけではありません。宿題に関しても、することが苦痛だったのですが、嫌だけどしなければならぬへと変化していき、することが当たり前になっていきました。私の場合、生活リズムの確立につなげる事ができた理由は、親の存在でした。厳しい一面もありながら、頑張りを認めてもらえていたことが大きかったと思っています。こんな風を書いていくと、きっと良い方向に育っていったと思われるかもしれませんが、中学3年生で違う方向に行ってしまう。この話は、またいつか……。

合志市で推進している「夢実現プロジェクト」の My プロジェクト、home プロジェクトの中で、次のようなこと提言がなされています。朝は自分で起きる、朝ご飯を食べる、自ら学ぶ、家庭での役割づくりこそ居場所づくり等です。家族の一員として家族全員が気持ちよく過ごすためには、自分の役割を果たすことが、とても重要な事だと思います。

各ご家庭で、日々の子どもの生活について話したり、点検しながら、各学年に合わせた主体的・計画的に過ごすことができるようにお願いします。

話の聞き方

前回の学校便りでその時の状況に応じた話の聞き方や伝え方を学校教育の中では大切にしていきたいと書いたと思います。話を聞く態度は、本校の大きな課題でもありましたので、今年度に入ってすぐに、各学年主任を中心に改善に取り組んでいきました。

最近、教室を覗くと、教師の話をしっかり聞く姿だけではなく、友だちが発言をするとき、自然と体が発言者を向くような動きが多く見られるようになってきました。それは、教室での授業のみならず、学年集会等を行っても同じような動きが見られます。多くの事を欲張るのではなく、1つのことにしっかり取り組む事が大切かもしれません。